



とよおか

第 58 号

平成24年7月20日

# 議会だより

発行/長野県豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷㈱



～かがやく女性シリーズ～  
かがやく、かあちゃんたち

農産物加工組合 ゆたか

6月定例会



6月定例議会のようす	1
予算特別委員会の質疑から	3～4
一般質問	5～11
議会改革の検討	12
議員の意志表示一覧表	12
委員会だより	13～14
みんなの声・私がんばっています	15



この議会だよりは、再生紙を使用しています



雨に輝く紫陽花園（伴野 慈恩院）

## 第2回定例会

# 一般会計予算 = 1億3700万円増額

### 平成24年第2回定例会開催

平成24年第2回定例会は、6月1日から19日までの19日間の会期で開催され、条例の制改定3件、補正予算3件、人事案件2件、報告2件、議員発議4件、請願3件が審議され、全ての案件が可決、承認、採択となった。

### 国保税5%余の値上げとなる

毎年のことであるが、第2回定例会（6月）の最大の焦点は、国民健康保険税の税率を決定する条例の改定である。

村民税や固定資産税

は村税であっても課税の根拠は法律で規定されているので、自治体による税率の違いはそれ程ではない。しかし、国保税は市町村の裁量の部分が大きく、自治体間の税率格差が広がっている。

長野県は全国レベルより一人当たり税額が安く、中でも下伊那地方は県下でも最も安い地

域となっている。

豊丘村も3年程前までは県下で最も安い位置にいたが、その後毎年税率引き上げが続けられ、被保険者の負担が増大しつつある。

こうした中で本年も、被保険者1人平均で対前年5・1%、1世帯当り3・9%の増税となる条例改正案が村から提案された。

議案は、昨年同様、総務産建委員会に附託され、社会文教委員会との連合審査となった。

審査の中では、条例を改定せず税の据え置きの可能性を村に質問



するやりとりがあったが、討論・採決の結果賛成多数で改定案が総務産建委員会でも可決された。

委員会終了後直ちに本会議が再開され、委員長報告の後討論が行われ、反対3名、賛成1名の議員が討論に立った。

反対討論では、医療費の見込み（保険給付費に連動）が少し過大であり、年間700万円（約2%）程低く見

積もれば、増税しなくても十分財政運営可能、又、5年連続値上げは避けるべきとの意見であった。

賛成討論は、年度中途で医療費が急増した時の対処のために余裕をもった財政が必要又、年度による乱高下を避けるためにも一定の値上げはやむを得ない。との意見であった。

採決の結果、賛成10名、反対3名で原案が可決された。

# 一般会計補正予算

## ◎社会教育施設設計委託料：3500万円

現在の福祉センターの老朽化により、新たな社会教育施設を平成25年度に建設するため、本年3月より4回の検討委員会で基本的な計

画案を練りあげてきた。今年度中に実施設計書を作りあげる必要があるため今回委託料を計上したものである。

## ◎住宅団地造成事業：3560万円

村道森谷線（商工会

）役場南側）の改良と

## ◎介護予防事業：299万円

本年度を介護予防ステップアップ元年と位置づけた一環として、高齢者と地域の幅広い世代との交流を目的に、

「らくらくサロン」を開設するための委託料や器具等の購入費である。

## ◎6次産業化（農商工連携）事業プロジェクト：499万円

村の農業振興のあり方を研究してきた農村フォーラムでの提案を具体化するため、今年度6次産業化事業に取り組むこととなった。

主な事業内容は、  
① 農林産物を活用した商品の開発（村の食品加工企業との連携）  
② 村の人柄や農地、景観を活かした観光ブランドの開発  
③ 村の中にある資源を活用し、村内飲食店との連携によるB級グルメの開発：等である。

## ◎コミュニティ事業への助成：1180万円

自主的な地域おこし活動への助成として、

具や除雪機等の購入助成、490万円

① コミュニティ事業：村内3ヶ所へ祭り用

② 防災事業：消防団用ホースや村内5地区

が防災用無線機、A E する助成金、690万円  
D、投光機等を購入

## ◎交通共済積立還元金を活用した交通安全対策事業：510万円

南信交通

共済掛金の積立額（支払共済金を差引いたを各市町村の加入者数に応じて交付し、交通安全対策等に活用するものである。

豊丘村は、カーブミラーの更新と青パトロール車の購入に当てる。



購入予定の青パトロール車

## 予算議決前の事業執行は議会軽視 改善を申し入れ

今議会の一般会計補正予算の審議の中で、議会の議決以前に事業執行に着手した事案が明らかになった。

これは、二三代表制を無視した行為であり、下平議長名で理事者に改善について文書で申し入れをした。

# 予算特別委員会

## 農商工連携で6次産業化を

### 予算執行は議会可決後に

|| 今後は十分に注意する ||

松村委員長 今回の補正予算に計上されている一部の事業が、補正予算成立前に執行されているという疑義がある。真相はどうか。

住民課長 ご指摘のとおり村が委託して行う事業で一部執行している。認識不足であり申し訳ない。今後は十分に注意して事業執行に当たりたい。

村長 ご指摘のとおりであり大変に遺憾なこと。今後はこうした事例がでないよう留意し

たい。

片桐(義)議員 コミュニティ助成金の配分内容は。又、山間地に偏った印象だが、他地区からは申請がないのか。

総務課長 本年は総額490万円で県下で一番多い。これは、壬生沢・福島・林原の方で、簡易除雪機や祭りの法被の購入が主な使途。

なお、本年は下段地区が少ないが、過去には助成を受けており、均衡は保たれている。

### 介護予防事業の実施内容は

|| 実施状況を整理し広報する ||

松下議員 本格実施し

始めた介護予防事業だが、似た内容の事業がいくつかあり、利用する場合に分かりにくい。整理してその資料を出

して欲しい。

住民課長 始まったばかりで確かに分かりにくい。資料を作り配布する。  
原議員 委託費の算出

基礎は。

住民課長 マネージャーは、2人で月額6400円の5カ所・10ヶ月で64万円。ディレクター

### 6次産業化の事業内容は

|| 農商工連携で所得向上と豊丘ブランドを ||

唐澤議員 6次産業化事業の説明を。

産建課長 農産物の生産から販売にわたる総合的な戦略事業。農業フォーラム参加者の声から生れた。豊丘村の豊富な資源を生かし、開発して収益に結びつけるもの。従来になかった農商工関係者が一体になって豊丘ブランドを構築したい。農商工関係者からなるプロジェクトを作り進める。コーディネーターとして、産直新聞の気賀沢さんを依頼する。商品開発などは信州大学や関連企業にお願いする。総予算は約500万円。

は企画・調整が主な仕事。4名で単価3万円の10カ月分。なお、地区ミニデイ等のアドバイス分も含んでいる。

原議員 事務局は産業建設課とのことだが、

交流センター「たいち」が担うべきだ。又、プロバイダーを育てることが大事。

酒井議員 コーディネーターへ委託した場合の成果報告を求めるのか。産建課長 気賀沢さんは、県内4人いる国のプランナーの一人で南信担当。成果報告等は



らくらくサロン (憩いの家)

## 補正予算の質疑から

# 社会教育施設の設計費を計上

これから考える。  
井原議員 この事業の期限はいつまでか。又、この種の事業はスピードが大切。他にないものを先手でやるべきだ。村長 行政が6次産業

化に取り組むのは珍しいとのこと。具体的な成果は分からないが、農工商が一体になって取り組むのは初めてであり期待している。

### 人・農地プラン事業は、何をするのか

豊丘村農業の10年後の設計図を描く

松村委員長 「人・農地プラン」の事業説明を。産建課長 豊丘村農業の基本計画で、10年後の担い手と農地利用計画を立てる。村内を3地区に分けて、今後の営農調査をもとに地区毎に話し合いを行う。地区と全村の営農計画を樹立する。この事業を

行うと、青年就農支援金などの財政援助が受けられる。事務局は、役場・農協・営農センターとなる。片桐(義)議員 対象農地は農業振興地域内だけか。産建課長 原則は農振地域だが、それ以外にも対象となる。

### 資料館北側の道路改良内容は

懸案の道路改良と2戸の住宅団地造成

片桐(秀)議員 資料館北側の森谷線改良工事は、以前からの懸案であり工事実施は良いことだが、事業目的は道

路改良か、住宅団地造成か。総務課長 両方が目的。道路だけだと残地ができて、これをどうするか

の問題が残る。松下議員 工事請負費に既存家屋の解体費用が含まれている。道路用地の買収単価は、解体後の「更地」が一般的であり、この費用分だけ用地単価は安くなるのか。

### 文化施設建設の進み具合は

設計概要がまとまり地元説明する

総務課長 計上した用地買収単価はあくまで概算額。解体費用分は当然控除する。

大原議員 文化施設の建設に関する現状は。教委事務局長 建設委

員会で原案がまとまり、村長に説明した。近く地元説明会を開く他、パブリックコメントを募集する。

片桐(秀)議員 設計委託費3500万円の根拠と、指名方法は。教委事務局長 概算工事費は7億円であり単純に5%を計上した。業者選定は、選定委員会基準で行う。

川野議員 中学校の外国人英語講師が変わるというが、その内容は。教委事務局長 ジャクソン先生は7月下旬に帰国し、代わりにガブリエル・ローガン先生に来てもらう。米国人で30歳の男性。



見通しの悪い森谷線改良予定箇所





# 一般



## 質 安全な飲料水の取り組みを

### 答 他の施策とのバランスを取りながら様子をみていく

川 野 孝 子

質問 平成21年に使用を開始した新伴野水源は現在、硝酸性窒素の値が8ppm位で推移している。許容値の10ppmになっていないので健康に影響が無いという事で供給されているのか。又、希釈という方法はとらないのか。

環境課長 この状況について信大の教授、中川村の桂川さんたちに相談している。源水と蛇口の数値の変化については時間的経過をみるような調査をしていきたい。

質問 安全な水の確保の為に表流水には手をつけられないのか。  
村長 表流水からの取水については巨額なお金がかかる。数値が法定内であるので、その他の施策とのバランスを取りながら様子をみていきたい。

村長 今現在希釈はしていない。今後、数値が上がる事態になれば希釈なり新しい水源を考えていきたい。  
質問 水質検査は源水と蛇口で行われているが、場所によっては源水より蛇口の方が高い現象があるが。



新伴野水源

質問 水源開発基金の今後の運用は。  
村長 次の井戸を掘る財源は確保できた。水道運営審議会に諮り、水源開発基金の積立金の7%は今年度限りとしたい。

- 25日 議会改革検討委員会（第2分科会）
- 28日 全員協議会
- 29日 総務産建委員会
- 29日～30日 全国町村正副議長研修会（東京）

### ◎6月

- 1日 第2回定例会 開会
- 全員協議会
- 5日 議会だより編集委員会
- 6日 総務産建委員会
- 7日 社会文教委員会
- 8日 例月監査
- 11日 県議長会 役員会
- 13日 一般質問
- 15日 予算特別委員会
- 議会運営委員会
- 19日 第2回定例会 再開
- 全員協議会
- 23日 南北小学校音楽会
- 24日 消防団ポンプ操法大会
- 25日 広域連合議会全員協議会
- 26日 農振協議会
- 27日 議会改革検討委員会（第1・2分科会）
- 29日 総務産建委員会・リニア特別委員会視察（山梨）

### 【6月議会請願・陳情について】

#### ●請願

- ・30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願 〔採択〕
- ・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願 〔採択〕
- ・新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める請願 〔採択〕

質 どう進める「介護予防」

答 他町村や、村内事業者と協議して考えていきたい

片 桐 秀 人

質問 村長は今年度を「介護予防ステップアップ元年」と位置づけ、

諸策を進めるとしているがその推進体制・進捗状況について伺う。

まず推進体制は。

住民課長 24年度は2名増員している。

質問 その中で産休職員がいると聞いているが実質はどうか。

住民課長 保健師が産休のため臨時雇用で賄っている。

質問 特定高齢者の介護予防として村単補助制度を創設してはどうか。

村長 今年1年かけて近隣町村や村内事業者と



中芝での地域ミニデイサービス

協議して、必要なら来年度以降考えたい。

質問 今年度ヘルパー派遣・配食サービスに

予算をつけてあるが進捗状況を伺う。

住民課長 村内事業者やNPOに協力を請し

て行きたい。

質問 これらの実施には要綱の作成が必要ではないか。

住民課長 今要綱を作成中である。

質問 介護予防施策について、専門家や有識者のアドバイスを受けたらどうか。

村長 高齢者の生活ニーズの把握をする中で考えていきたい。

要望 最後に村長への要望であるがもう少しアクセルを踏みスピードアップを求めたい。

質 学校の天井など落下防止対策は？

答 毎月点検を行っている

片 桐 真理子

質問 県の出前講座で避難所運営を体験できる「ハグ」という図上型の防災訓練がある。

意識啓発を高めるため職員、住民が一緒に取り組んではと思うが。

村長 県が主催する研修会に区役員が参加して「ハグ」の研修も行っている。研修を深め有

事の際に備えていく。

学校施設の安全確保は

質問 天井、照明器具

などの落下だけがをする事故も起きている。点検はどうか。また防災の拠点となる場合の対応について伺う。

教育長 各学校で毎月安全点検を行っている。学校が避難所となる時は地域住民と協力がで

きるような体制になっている。

介護予防、介護負担の軽減は

質問 高齢者施策の広報の徹底は介護予防につながる。取り組みについて伺う。

また介護保険を使わない人への返戻につ

てはどう考えるか。

村長 会合、広報媒体を利用し、介護保険制度や施策についての周知を図っている。返戻については一長一短があり考えていない。むしろ早めに介護を受けてもらった方がプラスになるのかと思う。



北小学校体育館の天井



質 防災マップの周知方法は

答 広報やCATV活用で

大 原 千 賀 子

質問 今年度配布の防災マップ周知と外国人の対応はどうか。

総務課長 広報等で周知。外国人には国際交流を活用して周知する。

質問 避難所の耐震化は。マップ内にAEDの表示はあるか。

総務課長 耐震のない所は集落施設改修制度を利用されたい。AEDは表示していない。

質問 緊急車両等がUターン出来ない道路の対応と、風水害時の通学路の点検はどうか。



今年度配布の防災マップ

産建課長 道路幅の狭い所は承知している。地区内の要望を相談されたい。通学路の点検は地元の役員で対応。

支えあいマップの導入は

質問 県内73市町村は取り組み始めている。県からも要請がきていると思うが、災害時のみでなく高齢者、1人暮らしの方々を支えるためにも、役場が中心にするのは如何か。

村長 豊丘ではマップはないが、障がい者、要援護者台帳は緊急用にある。県内でも作り始めた所があるから、前向きに検討する。

質 庁舎周辺の美化はどう取り組むか

答 管理体制を見直し、美化につとめる

井 原 康 明

質問 村長は「民間感覚を行政に吹き込み、産業振興等の村の課題に対し、スピード感を持って取り組む」と述べていた。庁舎内や庁舎周辺の植栽物、駐車場の清掃など環境整備に関して、民間感覚の吹き込みをどう考えるか。

質問 先の土木申請で、林公園の入口の排水溝の場所や内容が違って実施された理由は何か。また、工事金額の変動はどうなったか。

産建課長 現場視察の後に再度区の役員と相談して、当初の工事では無理があることから、

変更を決め、資材についても他の村道から撤去した物を再利用したため、当初より格安にできた。

質問 資材の管理状態が良くないので管理方法の改善が必要ではないか。

産建課長 ロープを張るなど早急に検討する。



役場正面玄関

質 野生獣害対策防護柵の維持管理は

答 3地区の管理委員が任務を負う

原 健 治

大規模な修繕は専門業者が

質問 野生獣被害対策防護柵が設置されるが、村としては総合的な管理体制で防護柵を維持していくか。

産建課長 「豊丘村野生鳥獣被害対策防護柵等設置検討協議会」と

いう村全体の組織を作った。その協議会が管理をおこなう。具体的には伴野・福島・壬

生沢区の虻川以南地区、田村・林区の中央区、河野・堀越区の北地区とし、3地区で

管理する。各地区より選出された管理委員が担当地区の管理にあた

る。経費は各戸より拠出した。協力を基本的には運営をおこなう。

質問 管理委員の実質的任務は。

産建課長 定期点検を年2回、台風や大雨時の後、見回り小修繕をお願いする。

質問 防護柵が破損した場合の対応策は。

産建課長 小規模で修復可能な場合は管理委員が作業をし、大規模な場合は専門業者による修復とする。

野生獣の肉加工場は検討に値する

質問 村の特産品として鹿肉、猪肉の加工場を作ることを提案する。

村長 課題はあるが、考えるに値する。

質問 現在の中学部活育の適正化は

質 村のスポーツ振興策は

答 多面的な機能を認め育んでいく

酒 井 浩 文

質問 豊丘村第5期総合振興計画策定のなかで、スポーツ振興をどのような位置づけで考えているか。

村長 健康な長寿社会や活力ある地域社会の実現、生涯スポーツ社会の振興、施設整備を推進する。村有施設を活用した大会の開催等による経済的な効果も期待したい。豊丘村らしい第5期振興計画を策定する。

質問 スポーツ推進員の増員・拡充の考えは。

教育長 今後は保健・福祉行政との連携も必要である。現状分析と検討を行い改善したい。

中学部活動と社会体育の適正化は

質問 現在の中学部活

動の問題点は。

教育長 生徒や保護者のニーズに対し、指導する教職員の確保がでない現状がある。本来の部活動の体制と社会体育の体制があいまいで、運営上の問題があるのは事実である。

質問 地域全体で子供

のスポーツ環境を支え、育てる体制づくりのため、豊丘村として今何ができるか。

教育長 指導に対する謝礼など経済的な支援

や、学校職員と地域指導者が共通認識を持って指導でき、連携した体制づくりを推進していく。スポーツ文化活動運営委員会のあり方も再考の必要がある。

質問 現在の中学部活

育の適正化は



がんばれ豊丘中！中体連壮行会



質 今後の「健康づくり対策」は

答 受診率向上と健康推進員の配置で

松 下 亨

質問 幸せな生活を送るための第1条件は健康であることだと考える。又、明るく元気な地域を作るためにはそこで暮らす人々が健康でなければ実現できないと考える。

現状の主な対策と、成果及び今後の主な対策についてはどうか。

住民課長 特定健診の受診率は、22年度が55%の目標で44・8%23年度は60%の目標で56・9%の見込み。今後は65%以上になるようあらゆる努力をしていきたい。

村長 各地区への健康推進員配置は、第5次介護保険計画でも明記してあり、先進地の状況を見ながらやっていきたい。



村長と語る女性会の

質 男女参画条例の制定と登用目標は

者の参画なくして実現できない。そこで、現状と男女共同参画条例の制定及び女性若者の登用目標設定の考えは。

質問 活力ある地域社会を作るには、人口の半数を超える女性の皆さんと、次代を担う若

高森町・松川町で行った。若者の委員会等への登用は、今後はいっそう意識して進めたい。条例化については、先進地に学び前向きに検討したい。

村長 女性・若者の委員会等への登用は、今後はいっそう意識して進めたい。条例化については、先進地に学び前向きに検討したい。

質 公契約条例の制定は

答 先進地の状況など研究してみたい

前 沢 光 昭

質問 国や自治体が発注する公共事業や委託事業は安ければよいという風潮がある。それが安値競争をよび、それが結果として下請けや孫受けで、働く労働者にしわ寄せがいつてしまうことが、全国で問題になっている。豊

地はどういう計画があるか、しっかりと調べて研究してみたい。

特定健診について

質問 特定健診は、24年度から受診率の高低により、高齢者支援金に影響するが、本来は

健康増進が目的のはず。向上のため受診費用の無料化などの考えはあるか。

丘陵の実態はどうか。受注条件のなかにこれらの単価も設定した「公契約条例」の制定を豊丘村として考えていけないか。



改修が進む巻ヶ城橋



質 嘱託保育士の正職員化を

答 将来の運営に向け計画的にとりくむ

唐 澤 啓 六

質問 村内3保育所において、直接保育現場を担当している保育士は25名であるが、正職員は9名、嘱託職員は16名である。こうした中で、正職員の年代構成もアンバランスがあり、8年間正職員のいない年代もある。

こうした嘱託職員の正職員化への道をひらいて、将来の本村保育所の運営をより確かなものにしていくことは、子育て支援の観点と、保護者の願いに応える大切な方策である。何年かかけて計画的

に正職員化すべきと考えるがどうか。

村長 現在の職員バランスが良いとは思っていないので、本年正職員を2名採用した。今回が特例とならないよう長期的な視点で、

将来の保育運営に支障をきたさないように、又、子どもたちが安全で楽しい生活が送られ、親も安心して預けられることを大切にしていきたい。

正職員化は直ちに全員というわけにはいかないが、将来に向けそれぞれの年代に必要な正職員というものは求めていく。(遊休施設の活用についての質問は省略)



元気に遊ぶ園児たち

リニア特別委員会を設置 排土など諸課題に対処



着々と進むリニア中央新幹線 (山梨県笛吹市)

JR東海が15年後(2027年)に東京・名古屋間の開業を目指しているリニア中央新幹線は、村南部を通過することが確実視されている。

リニアに地域の発展を期待する声と共に、南アルプスへの長大トンネルの不安と排土処理、磁気による健康面

への影響、騒音問題等不安視する声も村民の中にある。議会としても諸問題に対処するための組織づくりが必要との認識から、特別委員会を設置したものである。

議員全員で組織し、委員長：片桐義憲議員、副委員長：酒井浩文議員を選出した。

# 議会改革の本格論議に着手

## 村民に開かれた議会を目指し

議会改革検討委員会

委員長 唐澤啓六

今、全国の地方議会で議会改革の取り組みが広がっている。

飯伊地方においても、飯田市、松川町、高森町、喬木村、阿智村等で具体的な取り組みがなされつつあり、中には議会基本条例が制定されている例もある。

当村においても、これまで議会改革に向けた研究検討がされてきた。具体的な改革策として、「諸会議の全面公開」「一般質問の一回一答方式と対面方式」等、他の地方議会に先がけて実施している。

しかしながら、改革はまだ緒にいたばかりであり、課題は山積しているというのが実情である。こうしたことから、この度、議会

内部に「議会改革検討委員会」を立ち上げ検討に着手した。

二つの分科会に分け、それぞれの分科会で改革すべき課題をあげて、具体的な対策を研究していく方式で活動を始めていく。

6月末までにそれぞれ3回づつ分科会を開催し、今後も月1〜2回のペースで研究。全体の委員会でもとめる中で早期に取り組める事項は9月議会から、条例化が必要なものは12月議会以降で制定していくことになる。

最終的には、議会基本条例の制定を目指して検討していく必要があると考えている。

## 議員の意志表示一覧表

### <平成24年 5月 第3回臨時会>

○……賛成 ▼……反対

件名	審議結果	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	大原千賀子	片桐義憲	原健治	松村正三	片桐眞理子	川野孝子	片桐秀人	前沢光昭	唐澤啓六
村税条例の一部を改正する条例の制定について（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村一般会計補正予算第9号（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第3号（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村介護保険特別会計補正予算第5号（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村簡易水道特別会計補正予算第4号（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度豊丘村下水道事業特別会計補正予算第5号（専決処分）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊丘村農業委員会委員の推薦について	推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊丘村選挙管理委員会委員、同補充員の選挙について	指名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### <平成24年 6月 第2回定例会>

条例	豊丘村債権管理条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼
	印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度補正予算	平成24年度豊丘村一般会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度豊丘村下水道事業特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	リニア特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



数年後の村の姿に重ねて

# 「委員会だより」

## 総務 産建

総務産建委員会では、山梨県のリニア実験線一般区間延伸建設工事の現地視察と研修を計画、笛吹市建設部土木課のリニア対策班の協力を得られることとなったことから、6月29日に同市八代庁舎を訪ね平成2年から現在までの主な経過や問題点、そしてそれらを

基に丁寧な説明と、我々に対するアドバイスも頂くことができた。当初は、総務産建委員のみで行う予定であったが、第2回定例

### リニアの現地視察と研修

#### 全議員参加で行う

総務産建委員長 松村正三

会最終日に議員発議による「リニア特別委員会の設置」が、議決されたことから全議員に呼び掛け、全議員の参加を得て実施することが出来た。

又、同日は村の「リニア対策室」の昼神総務課長、岡田企画財政係長の同行もあり、議会と村が同時に、リニア建設中の現地を視察

し、そこで起きている問題点などについて研修できたことに、意義の深さを感じている。

今後、建設先行地域への視察研修を重ねるとともに、先行地域からの教訓を今後豊丘村でも生かして行くことが、リニアと係わっていく上で必要不可欠であると思う。

### 『笛吹市として今後予想される問題点への対応』

#### ①水関係について

減濁水が発生した地区が多数あるため、全地区応急対策は完了しており、市民からの苦情等は現時点ではない。

現在、恒久対策として、飲料水を中心に地元と協議、上水道変更認可、井戸掘削許可、井戸掘削中などの段階で、今後は、農業用

水・自家井戸・河川と生活に特に必要なものから順次対応していく予定。

②日陰問題について  
平成22年度から3年をかけ、果樹(ぶどう・

桃)の調査中であるが、昨年2年目に橋脚が建っていないかった箇所もあり、今年で終る日陰調査では不十分な点があることから、このままでは地元の理解が得られないことを鉄道・運輸機構に申し入れ、もう1年延長して調査することになった。などをあげ、笛吹市では、水、日陰対策を重点問題としている。



笛吹市担当者からの説明





ゆとりある教育を目指して

# 社会 文教

## ゆとりある教育を求める請願が3件 より充実した教育に必要とすべて採択

社会文教委員長 川野孝子

ゆとりある教育を求める請願が3件提出された。

社会文教委員会では審査の結果全員一致で3件の請願を採択とした。

●「30人規模学級の早期実現、教職員定数増を求める請願」について。国は平成23年からそれまでの40人学級定員を小学校1学年のみ35人と改善した。本年度は小学校2学年までを予定していたが見送られてしまっている。この請願は、全学年への拡大を要望すると同時に教職員的大幅増を求めるというもの。

長野県は小学校全学年と中学校2学年まで

35人学級定員が実施されている。ひとりひとりの子どもたちに目が届く35人定員が求められている。

●「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願について。

平成18年小泉内閣の時に国庫負担が1/2から1/3になり県の財政が厳しくなっている。都道府県、市町村による教育環境の格差が生じない為にも負担率を1/2に還元すること。又昭和60年に除外されている教材費、旅費なども復元することが要望されている。

●「新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める」について。

35人学級定員になって担任数は増えるが専科の先生の数がこれに連動していない。専科基準は40人学級定員の

ままとなっている。この教職員定数改善が求められている。

改善計画には複式学級解消のための基準の改定も盛り込まれている。小規模校の多い長野県の実状を考えると早期の改善も求められている。

3件の請願とも国へ意見書の提出が行われる。



シリーズ 「私、がんばっています」

壬生沢 荒木真弓 さん

今回は「インターンで壬生沢に住み、フリーマーケット「母ちゃんズ」の代表荒木真弓さんにインタビューした。

「インターン情報で豊丘村を知り生活環境・豊かな自然や景観の良さが気に入り、子育てに最適と東京から家族で越して来られた。村に

住みたかった、と言われるだけに、隣組や村の行事、公民館にも登録。ホームステイも受け入れた。好きな場所で仕事ができることが

「もっと大勢に出展して頂き、家族づれで来て欲しい。」

「村が1つの家族のよ

幸せ。毎月第3土曜日にセミナーハウスでフリーマーケット「スマイル100%」を開いており、インターンや近隣町村の方・遠くは名古屋のママ達手作り品、野菜等を持ち寄っているが、物々交換のようだ。

うに助け合い、横のつながりができるように何かお手伝いをしたい。」と話され、梅雨の晴れ間の暑い午後だったが

セミナーハウスは風が通り、46歳の荒木さんの強いパワーを感じた。



フリーマーケット「母ちゃんズ」

みんなの声



今年も梅味噌を作ったで」と、先日、梅栽培をする親戚から丹精込めて作った「梅味噌」が自宅に届けられた。タッパーに入れられたその蓋

を開けると、フワツと味噌と梅の絶妙な香りが広がり、食欲をそえられる。焼肉、焼き茄子、焼きおにぎり、お浸し……などなど、毎年この時期は手作りの美味しい梅味噌をのせて頂く料理が増える。農作業で多忙な毎日であるのに、その合間を縫って作られる梅味噌は絶品である。料理上手なお婆からは、ちよつとした会話の中から料理のヒントを教えられる。

引き継ぐべき「お母ちゃんの知恵」と地域農業活性化

小園 平澤恵美子

4月にたむらんど敷地内に農産物加工組合の第2加工所がオープンした。豊丘村で栽培された果実や野菜などから、多くの商品が開

発されている。「お母ちゃんの声」から生まれる商品は、どこか懐かしくて素朴で心が温かくなる。長年の農業経験から生み出されるアイデアと、昔から伝授されてきた味を農産物加工品として商品化することは、地域農業の活性化に必ず繋がっていくと感じる。

最近、村内の遊休農地、集団化した耕作放棄地を視察させていた。農業後継者の減少を目の当たりにし、自分には何ができるだろうと考えさせられた。また、新規就農者の圃場も視察させていた。若手の方の意欲的な農業への取り組みに大変刺激を受けた。パワフルに活躍する方々を見習いながら、私はこれから先ずっと農業に携わって行きたいと思う。

◇ 編集・発行 ◇

発行／長野県豊丘村議会  
編集／議会だより編集委員会  
〒399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地  
TEL 0265-35-9063 / FAX 0265-35-8355  
ホームページ <http://www.vill.nagano-toyooka.lg.jp>  
電子メール [gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp](mailto:gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp)

発行責任者：議長 平 豊 久  
編集委員会：委員長 松下 千賀子  
副委員長 大原 浩文  
委員 酒井 康明  
委員 井原 啓六  
委員 唐澤

議会だよりに、ご意見・ご感想をお寄せください。